

平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 竹内製作所

コード番号 6432 URL <http://www.takeuchi-mfg.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹内 明雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 神山 輝夫

TEL 0268-81-1100

四半期報告書提出予定日 平成26年7月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第1四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	17,842	53.0	3,004	—	2,861	122.2	1,718	76.6
26年2月期第1四半期	11,659	2.0	270	△40.6	1,287	130.3	973	94.6

(注)包括利益 27年2月期第1四半期 1,441百万円 (△7.4%) 26年2月期第1四半期 1,557百万円 (54.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	105.19	—
26年2月期第1四半期	59.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第1四半期	55,424	38,112	68.8
26年2月期	52,472	36,931	70.4

(参考)自己資本 27年2月期第1四半期 38,112百万円 26年2月期 36,931百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	16.00	16.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	0.00	—	16.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	35,200	25.5	3,900	119.4	3,640	20.7	2,200	△9.3	134.71
通期	59,600	11.2	6,000	35.2	5,750	△11.1	3,500	△24.3	214.30

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年2月期1Q	16,333,000 株	26年2月期	16,333,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年2月期1Q	1,167 株	26年2月期	1,135 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年2月期1Q	16,331,857 株	26年2月期1Q	16,331,865 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの主力市場である米国及び欧州の当第1四半期連結累計期間の経済は、米国におきましては、記録的な寒波の影響などで一時的に成長率は押し下げられましたが、個人消費は高めの伸びを維持し、その他の経済指標も改善方向に推移し始め、景気は緩やかな回復基調を維持しました。英国におきましては、個人消費が高い伸びを示し、住宅市場に関しても住宅価格の上昇など引き続き好調な状態を維持し、景気は堅調な状況が継続しました。その他欧州におきましては、一部欧州債務問題による景気低迷の状況から抜け出せない国がある一方で、ドイツやオーストリアなどは内需が牽引し、景気は緩やかな回復傾向をたどりました。

このような環境の中で、ミニショベル、油圧ショベル及びクローラーローダーの当第1四半期連結累計期間の販売台数は、特に米国と英国での需要の増加を受け、前年同期と比較して大幅に増加しました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、販売台数の増加により178億4千2百万円（前年同期比53.0%増加）になりました。

利益面につきましては、売上高の増加、コストダウン及び外貨建売上の円換算額が増加し利益率が改善したことにより、営業利益は30億4百万円（前年同期は、2億7千万円の営業利益）となりました。経常利益は、28億6千1百万円（前年同期比122.2%増加）、四半期純利益は、税金費用を11億4千3百万円計上したことなどにより17億1千8百万円（前年同期比76.6%増加）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 日本

日本では、欧州向けミニショベル及び油圧ショベルの販売台数が増加したことにより、売上高は59億2千5百万円（前年同期比36.4%増加）、セグメント利益は販売子会社向け売上高の増加や利益率が改善したことなどにより24億5千万円（前年同期比176.8%増加）となりました。

② 米国

米国では、ミニショベル、油圧ショベル及びクローラーローダーの販売台数が増加したことと円安でドル売上の円換算額が増加したことにより、売上高は71億2千2百万円（前年同期比66.0%増加）、セグメント利益は3億8千5百万円（前年同期は、1億3千2百万円のセグメント損失）となりました。

③ 英国

英国では、ミニショベル及び油圧ショベルの販売台数が増加したことと円安でポンド売上の円換算額が増加したことにより、売上高は30億4千1百万円（前年同期比113.8%増加）、セグメント利益は1億9千8百万円（前年同期比365.0%増加）となりました。

④ フランス

フランスでは、ミニショベル及び油圧ショベルの販売台数が増加したことと円安でユーロ売上の円換算額が増加したことにより、売上高は9億7千5百万円（前年同期比52.0%増加）、セグメント利益は6千2百万円（前年同期は、1百万円のセグメント損失）となりました。

⑤ 中国

中国では、ミニショベル及び油圧ショベルの販売台数が減少したことにより、売上高は7億7千7百万円（前年同期比19.2%減少）、セグメント損失は7千万円（前年同期は、5千3百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ29億5千2百万円増加し、554億2千4百万円となりました。好調な販売に支えられて特に米国子会社と英国子会社で売上高が増加し、それに伴い現預金、在庫が減少して売上債権が増加する状況となりました。このような状況の下、現金及び預金が3億6千4百万円減少及びたな卸資産が9億2千4百万円減少、一方で受取手形及び売掛金が41億1千1百万円増加し、結果として総資産は増加しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ17億7千1百万円増加し、173億1千2百万円となりました。これは主に、4月に当社の法人税等を納税したことにより未払法人税等が7億6千8百万円減少しましたが、好調な販売により当社の生産台数も増加し、支払手形及び買掛金が14億5千3百万円増加及び短期借入金が7億4千万円増加したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ11億8千万円増加し、381億1千2百万円となりました。これは主に、子会社の当第1四半期会計期間末の為替レートが期首に対して円高になったことにより為替換算調整勘定が2億7千6百万円減少しましたが、四半期間純利益などにより利益剰余金が14億5千6百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年4月10日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、本業績予想における外国為替レートは、1米ドル=98円、1英ポンド=160円、1ユーロ=135円、1人民元=16.1円を前提としております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,734,405	9,369,750
受取手形及び売掛金	17,872,088	21,983,874
商品及び製品	11,920,464	10,379,129
仕掛品	1,336,667	1,485,683
原材料及び貯蔵品	1,989,618	2,457,759
繰延税金資産	1,635,569	1,578,261
その他	1,158,592	1,419,857
貸倒引当金	△1,073,222	△1,115,959
流動資産合計	44,574,183	47,558,357
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,316,009	3,221,842
機械装置及び運搬具(純額)	775,254	872,177
土地	2,150,055	2,134,841
その他(純額)	368,543	343,710
有形固定資産合計	6,609,862	6,572,572
無形固定資産	801,339	808,703
投資その他の資産		
その他	646,019	642,527
貸倒引当金	△159,039	△157,694
投資その他の資産合計	486,980	484,832
固定資産合計	7,898,182	7,866,108
資産合計	52,472,366	55,424,465

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,317,932	11,771,034
短期借入金	300,000	1,040,000
未払法人税等	1,938,148	1,169,738
賞与引当金	150,685	280,470
製品保証引当金	718,621	738,493
その他	1,449,588	1,606,826
流動負債合計	14,874,976	16,606,562
固定負債		
退職給付引当金	138,597	126,706
役員退職慰労引当金	244,580	247,239
債務保証損失引当金	88,598	143,097
その他	193,652	188,760
固定負債合計	665,429	705,804
負債合計	15,540,406	17,312,367
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,632,948	3,632,948
資本剰余金	3,631,665	3,631,665
利益剰余金	30,027,593	31,484,286
自己株式	△3,250	△3,347
株主資本合計	37,288,956	38,745,552
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,506	12,911
為替換算調整勘定	△369,502	△646,365
その他の包括利益累計額合計	△356,996	△633,453
純資産合計	36,931,960	38,112,098
負債純資産合計	52,472,366	55,424,465

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	11,659,529	17,842,583
売上原価	10,169,469	13,110,700
売上総利益	1,490,060	4,731,883
販売費及び一般管理費		
運搬費	318,468	486,906
製品保証引当金繰入額	90,509	134,293
貸倒引当金繰入額	9,401	89,408
債務保証損失引当金繰入額	—	59,098
役員報酬	45,257	47,031
給料及び手当	283,489	316,160
賞与引当金繰入額	31,226	31,279
退職給付費用	8,630	3,810
役員退職慰労引当金繰入額	2,648	2,658
その他	429,534	556,707
販売費及び一般管理費合計	1,219,167	1,727,356
営業利益	270,892	3,004,527
営業外収益		
受取利息	3,214	6,401
受取保険金	6,194	6,443
為替差益	949,865	—
デリバティブ評価益	45,204	—
その他	19,464	15,148
営業外収益合計	1,023,942	27,993
営業外費用		
支払利息	3,736	1,993
貸与資産減価償却費	3,304	—
為替差損	—	166,447
その他	427	3,059
営業外費用合計	7,468	171,500
経常利益	1,287,366	2,861,020
特別利益		
固定資産売却益	10,401	98
特別利益合計	10,401	98
税金等調整前四半期純利益	1,297,768	2,861,118
法人税、住民税及び事業税	332,510	1,097,522
法人税等調整額	△7,755	45,593
法人税等合計	324,755	1,143,116
少数株主損益調整前四半期純利益	973,013	1,718,002
四半期純利益	973,013	1,718,002

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	973,013	1,718,002
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,395	405
為替換算調整勘定	579,931	△276,862
その他の包括利益合計	584,327	△276,457
四半期包括利益	1,557,340	1,441,544
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,557,340	1,441,544
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	英国	フランス	中国			
売上高								
外部顧客への売上高	4,343,005	4,290,761	1,422,174	641,656	961,930	11,659,529	—	11,659,529
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,724,537	—	5,141	9	96,701	5,826,388	△5,826,388	—
計	10,067,543	4,290,761	1,427,316	641,665	1,058,631	17,485,918	△5,826,388	11,659,529
セグメント利益又は損失(△)	885,159	△132,417	42,653	△1,229	53,125	847,291	△576,398	270,892

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△576,398千円には、セグメント間取引消去△399,814千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△176,584千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	英国	フランス	中国			
売上高								
外部顧客への売上高	5,925,623	7,122,910	3,041,227	975,145	777,677	17,842,583	—	17,842,583
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,123,445	1,063	1,031	135	195,655	9,321,331	△9,321,331	—
計	15,049,068	7,123,974	3,042,258	975,280	973,332	27,163,914	△9,321,331	17,842,583
セグメント利益又は損失(△)	2,450,324	385,543	198,352	62,483	△70,617	3,026,087	△21,559	3,004,527

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△21,559千円には、セグメント間取引消去176,178千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△197,738千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。